

■ 高取町土佐街道周辺及び高取城跡周辺地区まちづくり基本計画 ■

令和元年 6 月

1. 土佐街道周辺及び高取城跡周辺地区まちづくり基本計画策定の背景・目的

(1) 基本計画策定の背景・目的

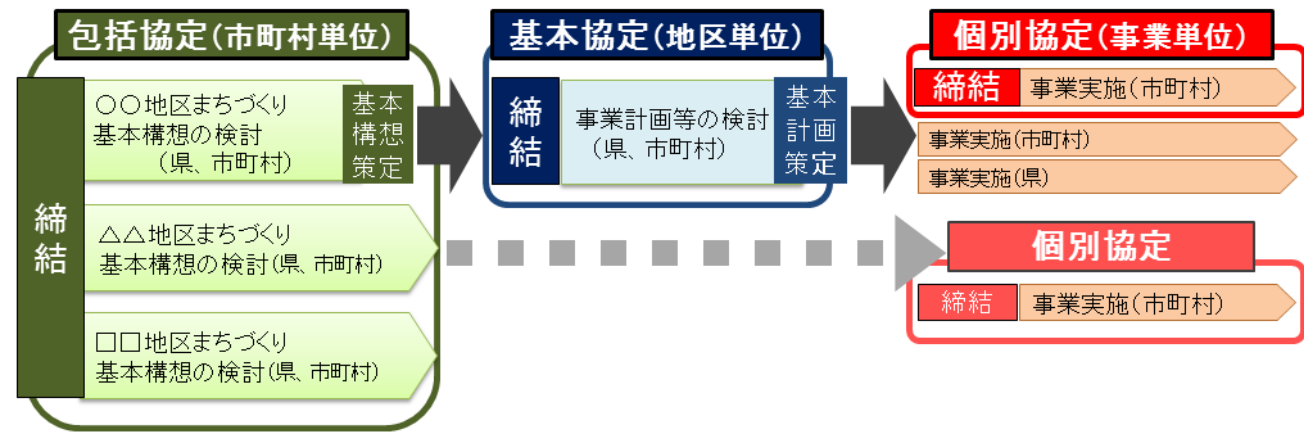
高取町と奈良県がまちづくりに係る取組に関して、平成 27 年 7 月 31 日付けで包括的な連携と協力に関する協定を締結、その後土佐街道周辺及び高取城跡周辺地区におけるまちづくりのコンセプトや将来像、基本となる取組を記載した構想を策定し、平成 29 年 3 月 30 日付けで県との基本協定を締結しました。それら経緯を踏まえ、今般の業務は、構想の実現に向けて取り組む事業について、事業名、事業内容、事業主体、事業スケジュール、事業効果（K P I）等を明確にし、体系的に整理することで、複数事業の事業間調整を図るとともに、幅広い関係者が相互に連携しながら、効率的、計画的に事業を展開できるようにすることを目的として「高取町まちづくり基本計画」を策定します。

なお、計画策定の根底には、住民が安心できる健康で快適な生活環境を実現しつつ、地域性を生かした賑わいのある住みよいまちづくりを進め、駅、病院、社寺、公園など、地域創生に資する拠点の特色に応じた機能の充実や強化を図るとともに、拠点間相互の連携を強め、県全体として総合力を発揮する都市形成の必要性があることに留意するものとします。

(2) 基本計画の位置づけ

「土佐街道周辺及び高取城跡周辺地区まちづくり基本計画」は、基本構想で定めたまちづくりの方針に対し、必要な事業メニュー・実施主体等を地域の皆さんのご意見をいただきながら作成したものです。この計画を基本として、地域住民と行政が協働して、各種事業を進めていきます

【県が想定する連携協定の一般的な流れ】

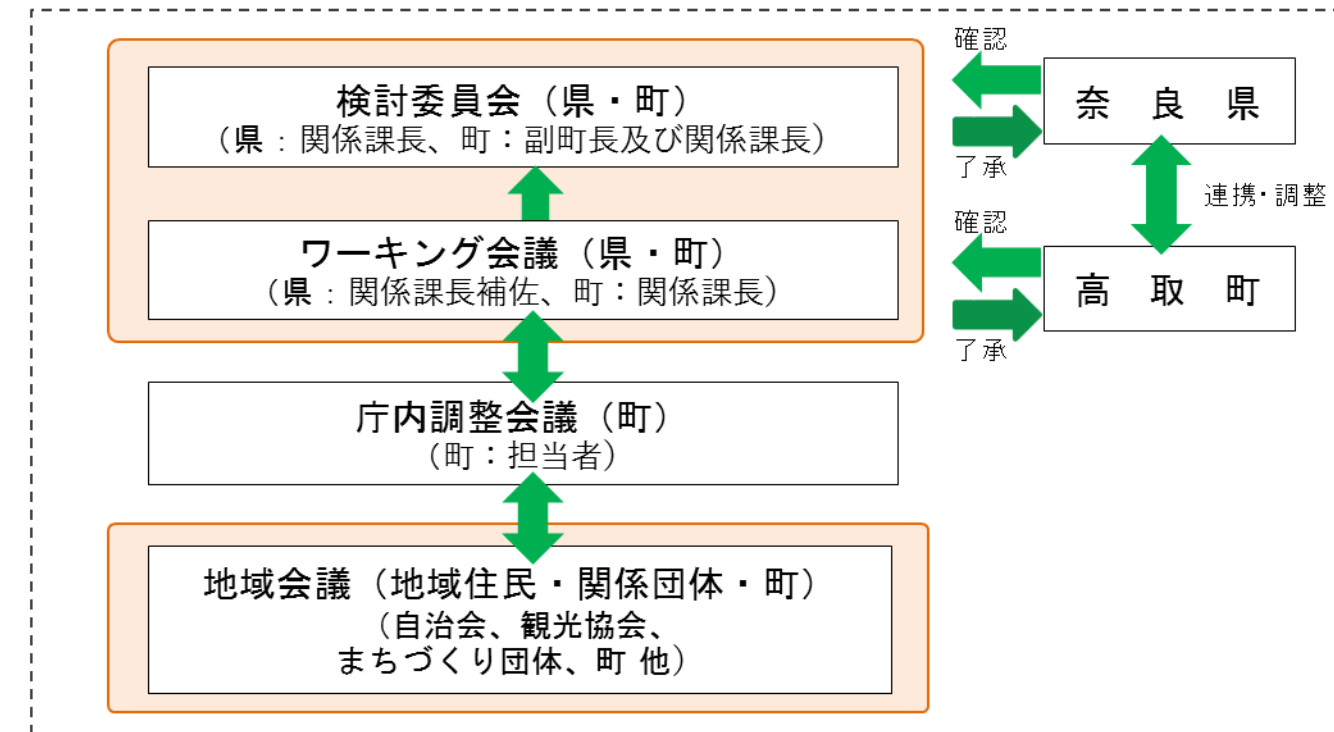


(3) 基本計画の運用方針

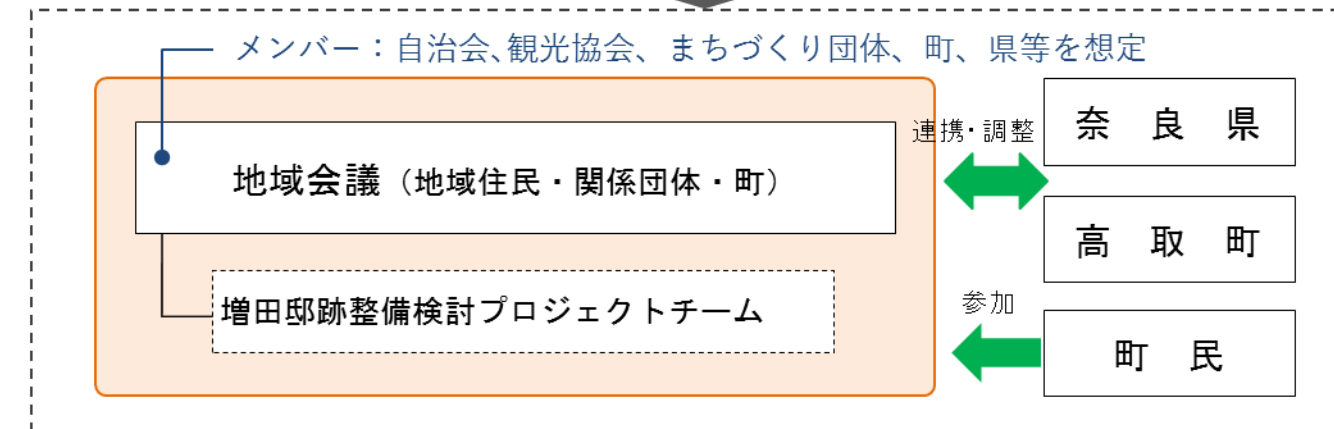
土佐街道周辺及び高取城跡周辺地区まちづくり基本計画を推進するため、地域会議メンバーを中心的な構成員とする「地域会議」を組織し、計画内容の運営を行い、必要に応じて、適宜計画内容を見直します。また、別途「増田邸跡整備検討プロジェクトチーム」を組織し、増田邸跡の検討を行います。

【基本計画運用のための組織体制（案）】

<平成29年度>



<平成30年度以降>



(4) 基本計画で定める内容及びエリア

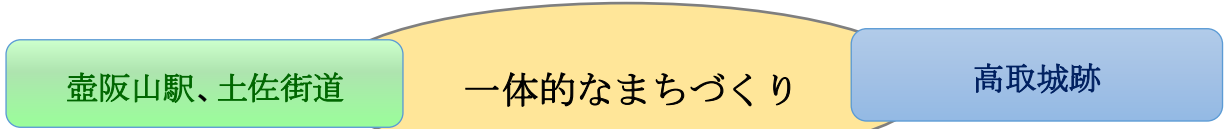
＜地区の課題＞
(基本構想)

- ・ 歴史・文化資源の活用による観光客の誘致
- ・ 周辺自治体との連携
- ・ 壱阪山駅の拠点性の強化
- ・ まちづくり活動の更なる推進
- ・ 年間を通じた集客性向上のための対策
- ・ 土佐街道と高取城跡の一体感の創出
- ・ 観光振興のための各種施設の整備
- ・ 歴史・文化資源の適切な保存
- ・ 観光振興による観光交流人口の拡大
- ・ 多様な人々の参画によるまちづくり活動の維持継続
- ・ 若い人が魅力を感じるまちづくりの推進

＜まちづくりのコンセプト＞
(基本構想)

日本有数の山城とその麓に築かれた城下町を一体的に体感できるまちづくり
有数の文化資源や歴史的まちなみ(風景)を保存・活用したまちづくり

＜まちづくりの方針＞
(基本構想)



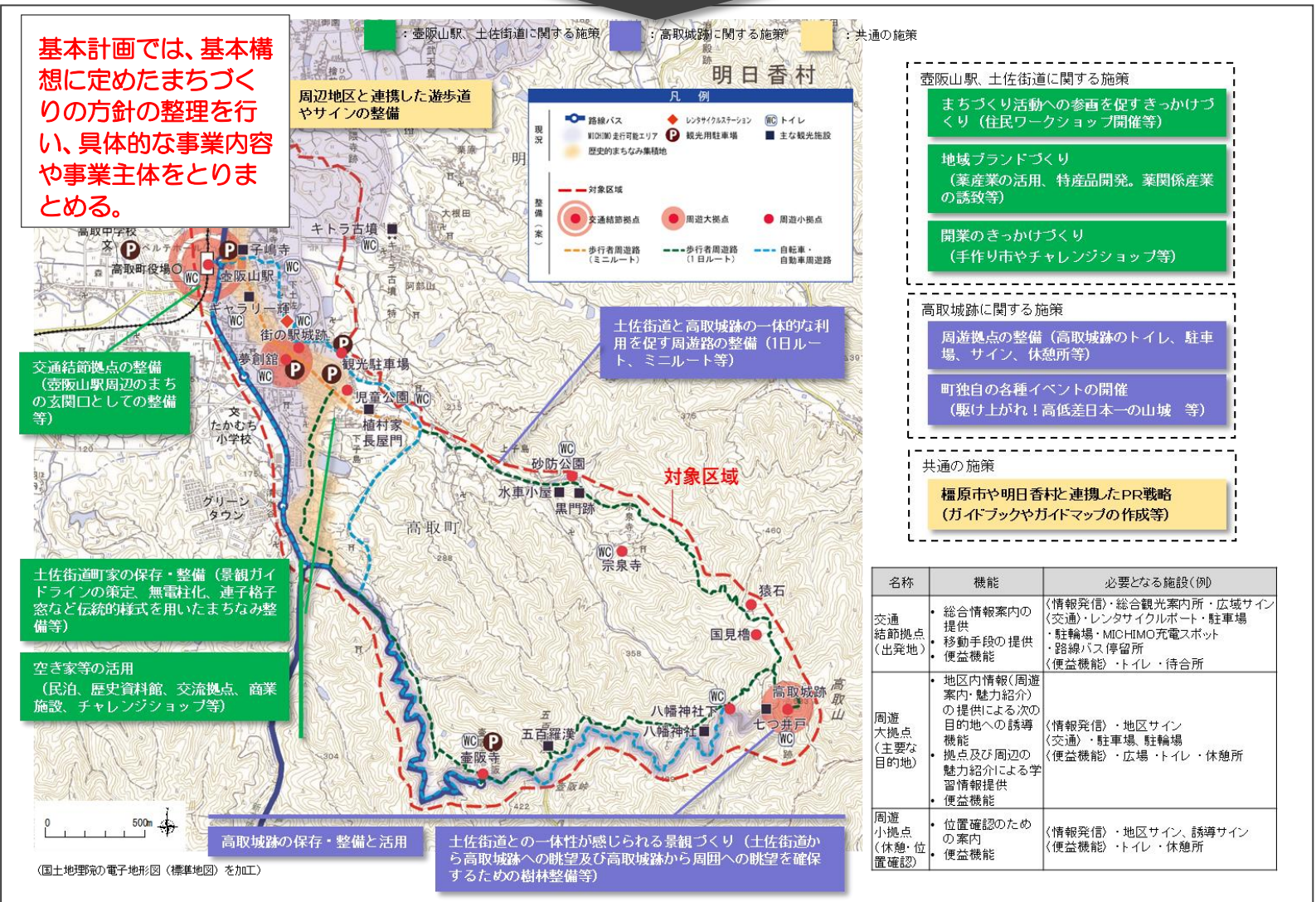
＜壱阪山駅・土佐街道＞

- 壱阪山駅の交通結節拠点としての整備
- 土佐街道のまちなみの保存・整備と活用
- 賑わいを促す仕組みづくり
- 多くの人々のまちづくり活動への参画促進

＜高取城跡＞

- 土佐街道との一体性に配慮した高取城跡の保存・整備と活用
- 地域の特性を活かしたイベントの開催
- ＜共通＞
- 飛鳥地域としての一体的な連携強化

＜基本計画で定める内容及びエリア＞



2. まちづくりを進めていく上で必要な事業メニュー・実施主体など

（１）壱阪山駅:まちの玄関口としてふさわしい駅前整備
「壱阪山駅:まちの玄関口としてふさわしい駅前整備」においては、以下の事業を想定しています。

事業名		事業主体	事業内容		H30～R4				R5～		事業手法	対象エリア		
												壱阪山駅	土佐街道	高取城跡
ハード	交通結節拠点の整備事業	町	壱阪山駅前広場の改修整備		登記	用地補償			工事着手		社会資本整備総合交付金	○		
			壱阪山駅前観光拠点施設の整備（総合案内所、レンタサイクル貸出所、MICHIMO充電スポット設置等）		登記	用地補償			工事着手		社会資本整備総合交付金	○		
		県	一般国道169号（壱阪山駅前交差点）の整備		登記	用地補償			工事着手		社会資本整備総合交付金	○		

（２）土佐街道:文化・交流拠点としてまちなみの保存・活用、にぎわいづくり
「土佐街道:文化・交流拠点としてまちなみの保存・活用、にぎわいづくり」においては、以下の事業を想定しています。

事業名		事業主体	事業内容		H30～R4				R5～		事業手法	対象エリア		
												壱阪山駅	土佐街道	高取城跡
ハード・ソフト	薬関係産業の誘致事業	町	製薬企業誘致事業	上下水道整備	計画・設計	工事着手					社会資本整備総合交付金（下水道のみ）		○	
				事業所整備		工事（造成、建物整備等）	創業						○	
		町	企業支援事業（支援制度の創設）		検討・運用				継続的運用				○	
			薬のまちPRイベント事業		イベントの実施				継続的開催		地方創生推進交付金		○	

事業名		事業主体	事業内容		H30～R4					R5～		事業手法	対象エリア		
													壱阪山 駅	土佐 街道	高取 城跡
ハード・ソフト	空き家の利活用、開業のきっかけづくり事業	町	拠点施設整備事業（増田邸跡）		設計・工事			管理				移住促進施設事業補助金（県）		○	
			空き家の利活用推進事業	利活用計画の策定	利活用基本計画							社会資本整備総合交付金		○	
				空き家と移住者、起業者とのマッチングイベント	イベントの実施					継続的開催		地方創生推進交付金		○	
		町/商工会・金融機関		空き家利活用支援（融資制度や優遇制度の紹介、協議会設立準備等）	利活用支援					継続的实施				○	
		町		人材育成支援（勉強会、まちづくりリーダーの認定等）	人材育成支援					継続的实施		地方創生推進交付金		○	
ソフト	まちなみ景観づくり事業	町	景観計画の策定及び屋外広告物条例の制定			広告物等 景観調査		計画策定 条例制定	景観ガイド ラインの 策定	景観ガイドライン・条例による景観誘導				○	
	安全で便利に散策できるまちづくり事業	町	新たな交通手段の整備			地元調整	実証実験・検証			将来的に実施		地方創生推進交付金		○	
ハード	無電柱化事業	町/電力・通信事業者	移設先検討、電力・通信事業者調整、用地買収							将来的に実施				○	
		町	道路の掘削、管路の購入、管路の設置、道路の埋戻し、道路の舗装							将来的に実施				○	
		電力・通信事業者	ケーブル・地上機器等を購入し設置、電柱・電線を撤去							将来的に実施				○	
	住宅の伝統的建築への改修整備事業	町	既存の現代建築や新築する現代建築を連子格子等の伝統的な様式を備えた建築への改修整備促進							将来的に実施				○	
ソフト	地域ブランドづくり事業	町/事業者	特産品開発		特産品開発					事業者による継続的開発		地方創生推進交付金		○	

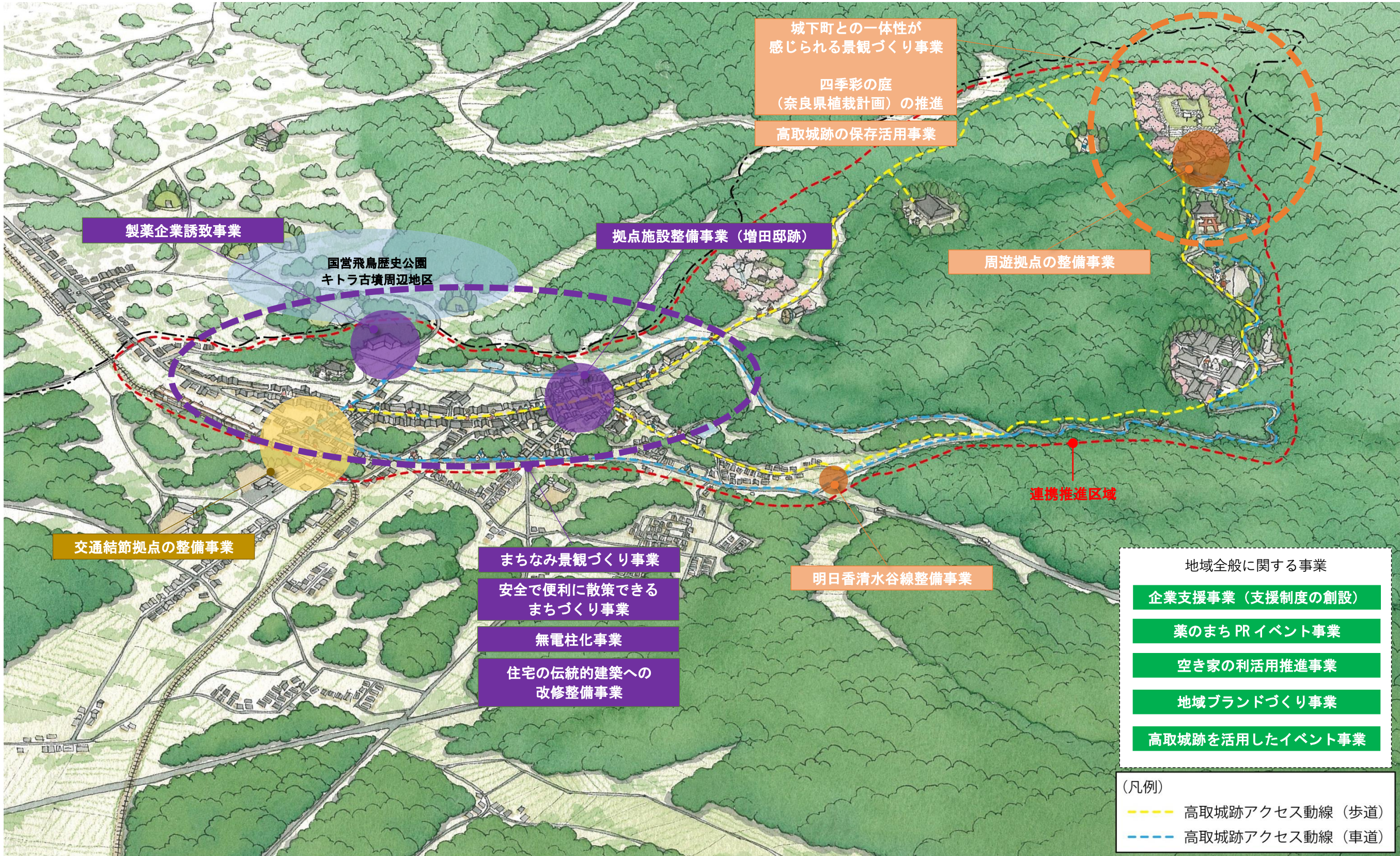
（３）高取城跡：まちのシンボルとして高取城跡の保存と活用

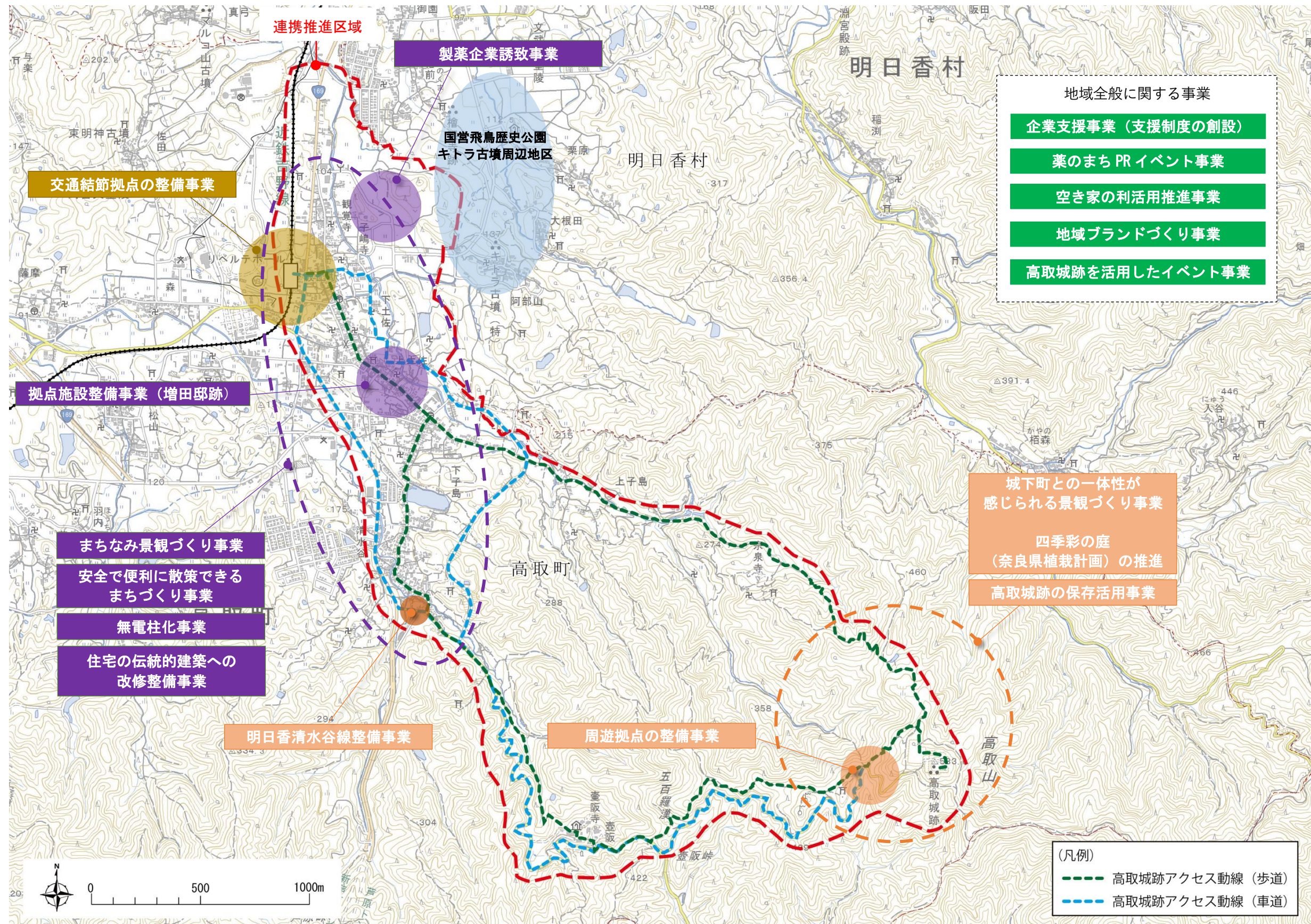
「高取城跡：まちのシンボルとして高取城跡の保存と活用」においては、以下の事業を想定しています。

事業名		事業主体	事業内容	H30～R4					R5～	事業手法	対象エリア		
											壺阪山 駅	土佐 街道	高取 城跡
ハード	城下町との一体性が 感じられる景観づくり 事業	町	城下町－高取城跡間の眺望確保、景観向上のため、樹木を整備 四季彩の庭(奈良県植栽計画)の推進	水堀整備	草花植栽 危険木伐採	石垣雑木雑草 除去 危険木伐採	景観支障木伐採 危険木伐採	広葉樹更新 危険木伐採	継続的維持管理	奈良県植栽による景観向上推進事業費補助金			○
	ハード	周遊拠点の整備事業	町	高取城跡周辺のトイレの整備	整備箇所調整	用地買収	実施設計	工事	継続的維持管理	訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業			○
高取城跡周辺の案内サイン設置				工事				継続的維持管理	社会資本整備総合交付金			○	
国			高取城跡周辺登城道の整備	七つ井戸歩道整備					森林景観を活かした観光資源の創出事業			○	
県			高取城跡登城道・石垣・解説板の復旧整備	工事	継続的維持管理				歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業			○	
明日香清水谷線整備事業		県	清水谷工区の整備	計画・設計	用地買収・補償		工事着手			社会資本整備総合交付金			○
ソフト	高取城跡を活用したイベント事業	町	観光交流人口増加のためのイベント開催	イベント開催				継続的実施	地方創生推進交付金			○	
	高取城跡の保存・活用事業	県	高取城跡保存活用計画・整備基本計画の策定に向けた検討		計画策定に向けた検討			事業実施				○	

3. 基本計画図

土佐街道周辺及び高取城跡周辺地区の基本計画図は、以下に示すとおりです。





4. 事業推進に向けた取り組み

土佐街道周辺及び高取城跡周辺地区まちづくり基本構想の実現に向け、地区毎に整理した事業について、スケジュールやタイミングを明確にするとともに、各事業がどのような役割を果たしているかを意識し、地域住民、民間事業者、行政が協働して戦略的に取り組みます。

具体的には、まちの玄関口である壱阪山駅は時間をかけて整備を行い、それと並行して土佐街道と高取城跡の整備を進めます。土佐街道では、景観整備や賑わいづくりのテコ入れとして、まずは行政が主体となってハード事業、ソフト事業を実施し、それを踏まえて住民との協働による景観保全と整備、事業者による継続的な特産品開発等を推進します。高取城跡では郷土愛醸成のためのイベント等を継続的に実施します。

一体的なまちづくり

1. 壱阪山駅: まちの玄関口としてふさわしい駅前整備

【継続的な整備】

○ハード事業：交通結節拠点の整備事業（壱阪駅前広場の改修整備、壱阪山駅前観光拠点施設の整備、一般国道 169 号（壱阪山駅前交差点）の整備）

2. 土佐街道: 文化・交流拠点としてまちなみの保存・活用、にぎわいづくり

【景観整備、賑わいづくりのテコ入れ（行政主体によるアクションプラン）】

- ハード・ソフト事業：薬関係産業の誘致事業（製薬企業誘致事業、企業支援事業（支援制度の創設）、薬のまち PR イベント事業）
空き家の利活用、開業のきっかけづくり事業（拠点施設整備事業（増田邸跡）、空き家の利活用推進事業）
- ソフト事業：まちなみ景観づくり事業（景観計画の策定及び屋外広告物条例の制定）
安全で便利に散策できるまちづくり事業
地域ブランドづくり事業（特産品開発）

将来的には

【住民との協働による景観保全と整備の推進】

- ハード事業：無電柱化事業
景観ガイドライン等を活用した、
住宅の伝統的建築への改修整備事業
- ソフト事業：薬のまち PR、空き家と移住者、企業者とのマッチングイベントなどの継続的実施
事業者等による継続的な特産品開発等

3. 高取城跡: まちのシンボルとして高取城跡の保存と活用

【更なる活用のための基盤づくり】

- ハード事業：城下町と一体性が感じられる景観づくり事業（城下町-高取城跡の眺望確保、四季彩の庭（奈良県植栽計画）の推進、景観向上のため、樹木整備）
周遊拠点の整備事業（トイレ、案内サイン、登城道・石垣・解説板の復旧整備）
明日香清水谷線整備事業（清水谷工区の整備）
- ソフト事業：高取城跡を活用したイベント事業
高取城跡の保存活用事業

まちづくり基本構想の実現

5. 基本構想の目標に対する事業効果(KPI)について

土佐街道周辺及び高取城跡周辺地区では、今後の運用面を鑑み、国勢調査等の参照できるデータや、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」等関連計画で設定している事業効果評価指標（KPI）を参考に評価指標を抽出し、本地区における目標値を設定します。

■ 事業効果評価指標（KPI）の設定

指標分野	データの種類	現在値（H28）	目標値（R3）	増減	主な出典資料
人口	5 地区（上土佐、下土佐、上子島、下子島、 観覚寺）人口	1,746 人	1,750 人	4 人	住民基本台帳（2016 年 12 月末）
世帯	5 地区（上土佐、下土佐、上子島、下子島、 観覚寺）世帯数	739 世帯	741 世帯	2 世帯	住民基本台帳（2016 年 12 月末）
交通	壱阪山駅乗降客数	411,639 人	413,000 人	1,361 人	H28.4～H29.3
賑わい	事業所数	324 件	325 件	1 件	平成 28 年経済センサス-活動調査
	従業員数	2,309 人	2,350 人	42 人	平成 28 年経済センサス-活動調査
	魅力発信イベント参加者数	0 人	500 人	500 人	